



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 大

上場会社名 OUGホールディングス株式会社

コード番号 8041 URL <http://www.oug.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 谷川 正俊

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営基盤グループ

(氏名) 中江 一夫

TEL 06-4804-3033

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	153,168	0.1	363	46.9	519	7.3	341	80.1
23年3月期第2四半期	153,051	0.6	247	—	483	517.3	189	82.0

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 281百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △115百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	6.25	—
23年3月期第2四半期	3.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	72,704	14,527	20.0
23年3月期	66,628	14,575	21.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 14,521百万円 23年3月期 14,569百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	320,000	0.3	1,400	17.7	1,700	8.3	1,400	27.9	25.62

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	55,622,921 株	23年3月期	55,622,921 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	973,044 株	23年3月期	965,356 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	54,652,194 株	23年3月期2Q	54,787,247 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災で混乱した部品などのサプライチェーン（供給網）の復旧が進み、生産や輸出を中心に回復基調にありますが、円高や海外経済の減速などの影響により、景気持ち直しのペースは緩やかになっております。また、雇用・所得環境は依然厳しく、個人消費は総じて低迷したまま推移いたしました。

水産物流通業界におきましては、先行き不安などによる消費者心理の冷え込みや生活防衛意識の高まりから購買意欲は低迷し、低価格志向が浸透したまま販売競争が激化するなど厳しい経営環境下にありました。

このような環境にあつて、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の削減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

業績の状況につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は販売数量の確保に注力し1,531億68百万円（前年同期比100.1%）となりました。損益面では、売上総利益は110億6百万円（前年同期比98.5%）となり、営業利益は販売費及び一般管理費の間接経費全般について削減等効率化を進め3億63百万円（前年同期比146.9%）、経常利益は5億19百万円（前年同期比107.3%）となりました。四半期純利益は、投資有価証券評価損61百万円の特別損失の計上により、3億41百万円（前年同期比180.1%）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業の売上高は、取扱数量は減少したものの販売単価の上昇により967億81百万円（前年同期比100.0%）、セグメント利益は仕入コストの増加などにより3億34百万円（前年同期比86.7%）となりました。

<市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業の売上高は、販売単価の上昇などにより563億27百万円（前年同期比100.7%）、セグメント利益は間接経費全般の削減に努めましたが仕入コストの増加により1億28百万円の損失（前年同期2億56百万円の損失）となりました。

<養殖事業>

九州、四国にてハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業の売上高は、例年にない天然ブリの漁獲量の増加に伴う養殖ブリの販売数量及び販売単価の減少により24億49百万円（前年同期比87.0%）、セグメント利益は給餌効率の改善などに努めましたが93百万円（前年同期比40.4%）となりました。

<食品加工事業>

消費地にある鮮魚加工センターにて輸入サーモンのフィレ加工及び量販店向けにおにぎり等米飯加工などを行う食品加工事業の売上高は、新規顧客の開拓に努め16億18百万円（前年同期比104.8%）、セグメント利益は低価格化や販売競争の激化、原材料価格の高騰などもあり1億32百万円の損失（前年同期1億51百万円の損失）となりました。

<物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分けをし自社便にて配送を行う物流事業の売上高は、通過物量の減少などにより10億52百万円（前年同期比91.8%）、セグメント利益は48百万円の損失（前年同期42百万円の損失）となりました。

<その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他の売上高は20億8百万円（前年同期比106.0%）、セグメント利益は6百万円の損失（前年同期17百万円の利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて60億76百万円増加し、727億4百万円となりました。主な要因は、たな卸資産の増加45億73百万円、受取手形及び売掛金の増加21億41百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて61億24百万円増加し581億77百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加25億56百万円、借入金の増加36億92百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて48百万円減少し145億27百万円（自己資本比率20.0%）となりました。主な要因は、四半期純利益の計上3億41百万円及び配当金の支払3億27百万円による利益剰余金の増加13百万円、その他有価証券評価差額金の減少65百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べて5億76百万円減少し、17億38百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは34億11百万円の支出（前年同期31億3百万円の支出）となりました。仕入債務の増加25億35百万円（前年同期31億14百万円の増加）がありましたが、たな卸資産の増加45億73百万円（前年同期47億52百万円の増加）及び売上債権の増加20億83百万円（前年同期14億86百万円の増加）が主な資金の減少要因となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは2億40百万円の支出（前年同期1億4百万円の収入）となりました。有形固定資産の取得による支出2億10百万円（前年同期3億9百万円の支出）が主な資金の減少要因となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは30億75百万円の収入（前年同期26億97百万円の収入）となりました。配当金の支払3億27百万円（前年同期3億28百万円の支払）がありましたが、短期借入金及び長期借入金の借入れによる純収入36億92百万円（前年同期32億85百万円の純収入）が主な資金の増加要因となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値に差異が発生いたしました。詳細につきましては、本日平成23年11月11日公表の「平成24年3月期第2四半期（累計）の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照下さい。なお、通期の業績予想につきましては、平成23年5月13日に公表いたしました連結業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,349	1,752
受取手形及び売掛金	26,512	28,654
商品及び製品	16,212	20,747
仕掛品	1	4
原材料及び貯蔵品	97	133
その他	1,452	1,399
貸倒引当金	△944	△952
流動資産合計	45,681	51,740
固定資産		
有形固定資産	12,313	12,209
無形固定資産	2,489	2,848
投資その他の資産		
投資有価証券	5,046	4,849
その他	2,448	2,359
貸倒引当金	△1,351	△1,301
投資その他の資産合計	6,143	5,906
固定資産合計	20,946	20,964
資産合計	66,628	72,704
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,469	20,026
短期借入金	15,550	19,500
1年内返済予定の長期借入金	1,399	1,355
未払法人税等	355	102
賞与引当金	719	789
その他	3,045	3,294
流動負債合計	38,539	45,068
固定負債		
長期借入金	6,924	6,711
退職給付引当金	2,396	2,438
役員退職慰労引当金	48	54
負ののれん	408	225
その他	3,734	3,679
固定負債合計	13,512	13,108
負債合計	52,052	58,177

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,495	6,495
資本剰余金	6,153	6,153
利益剰余金	2,363	2,376
自己株式	△241	△242
株主資本合計	14,771	14,783
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	178	113
繰延ヘッジ損益	△2	1
土地再評価差額金	△377	△377
その他の包括利益累計額合計	△201	△261
少数株主持分	6	6
純資産合計	14,575	14,527
負債純資産合計	66,628	72,704

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	153,051	153,168
売上原価	141,878	142,161
売上総利益	11,173	11,006
販売費及び一般管理費	10,925	10,642
営業利益	247	363
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	96	88
負ののれん償却額	196	182
その他	106	105
営業外収益合計	405	382
営業外費用		
支払利息	138	165
持分法による投資損失	1	—
その他	29	61
営業外費用合計	169	227
経常利益	483	519
特別利益		
投資有価証券売却益	301	—
固定資産売却益	37	—
特別利益合計	338	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	65	—
投資有価証券評価損	54	61
事業整理損	27	—
特別損失合計	147	61
税金等調整前四半期純利益	675	457
法人税、住民税及び事業税	336	53
法人税等調整額	147	61
法人税等合計	483	115
少数株主損益調整前四半期純利益	191	342
少数株主利益	2	0
四半期純利益	189	341

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	191	342
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△307	△65
繰延ヘッジ損益	0	4
その他の包括利益合計	△307	△60
四半期包括利益	△115	281
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△117	280
少数株主に係る四半期包括利益	2	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	675	457
減価償却費	483	463
投資有価証券売却損益 (△は益)	△301	△0
負ののれん償却額	△196	△182
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△132	△42
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△40	41
賞与引当金の増減額 (△は減少)	77	69
受取利息及び受取配当金	△102	△93
支払利息	162	165
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,486	△2,083
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,752	△4,573
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,114	2,535
その他	△368	209
小計	△2,866	△3,034
利息及び配当金の受取額	102	93
利息の支払額	△164	△154
法人税等の支払額	△175	△316
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,103	△3,411
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△309	△210
有形固定資産の売却による収入	166	—
投資有価証券の取得による支出	△16	△14
投資有価証券の売却による収入	319	1
短期貸付けによる支出	△129	△65
短期貸付金の回収による収入	86	63
長期貸付けによる支出	△9	△12
長期貸付金の回収による収入	25	30
その他	△27	△33
投資活動によるキャッシュ・フロー	104	△240
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,970	3,950
長期借入れによる収入	40	170
長期借入金の返済による支出	△724	△427
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△258	△287
配当金の支払額	△328	△327
その他	△1	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,697	3,075
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△301	△576
現金及び現金同等物の期首残高	2,571	2,314
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,270	1,738

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	93,736	54,809	1,681	783	639	151,650	1,400	153,051	—	153,051
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,019	1,142	1,132	761	506	6,562	493	7,056	△7,056	—
計	96,756	55,951	2,814	1,545	1,146	158,213	1,894	160,108	△7,056	153,051
セグメント利益 又は損失 (△)	386	△256	232	△151	△42	167	17	185	62	247

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業及び水産物仲卸事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額62百万円には、セグメント間取引消去418百万円、のれんの償却額△8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△348百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	93,789	55,099	1,475	740	560	151,665	1,502	153,168	—	153,168
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,991	1,227	973	878	491	6,563	505	7,069	△7,069	—
計	96,781	56,327	2,449	1,618	1,052	158,229	2,008	160,237	△7,069	153,168
セグメント利益 又は損失 (△)	334	△128	93	△132	△48	118	△6	112	251	363

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業及び水産物仲卸事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額251百万円には、セグメント間取引消去601百万円、のれんの償却額△8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△341百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、「その他」に含まれていた「物流事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。